

| | | | |
|-------------------|--|--|-----|
| 会議名 (審議会等名) | 平成26年度 第1回 川西市青少年問題協議会 | | |
| 事務局 (担当課) | こども家庭部こども家庭室こども・若者政策課 内線(3442) | | |
| 開催日時 | 平成26年6月3日(火)午前10時~11時40分 | | |
| 開催場所 | 市役所 2階 202会議室 | | |
| 出席者 | 委員 | 山本耕平、大堀彰子、大矢根秀明、池添壘、熊田早苗、中田鞆子、中西博、和島将志、矢野孝雄、澁野敏彦、高木佳子、小林勝美、田村嘉規、吉田涼香 | |
| | 事務局 | こども家庭部長 中塚一司 こども家庭室長 山元昇 こども・若者政策課 課長 井口俊也 主査 鳥越永都子 主任 久下泰史 主事 中村陵 学校教育室長 上中敏昭 教育情報センター所長 杉村浩 青少年センター所長 辻俊博 | |
| 傍聴の可否 | <input checked="" type="radio"/> 可・不可・一部不可 | 傍聴者数 | 1 人 |
| 傍聴不可・一部不可の場合、その理由 | | | |
| 会議次第 | 1. 開会 2. 委員の委嘱について 3. 副市長挨拶 4. 協議事項 (1) 会長・副会長の選出について (2) 平成25年度川西市青少年健全育成要綱(案)について (3) 支援地域協議会設置に向けたネットワーク体制について (4) 平成26年度「青少年ふれあいデー」について (5) 平成26年度青少年育成フォーラムについて (6) 平成26年度「青少年の表彰」について 5. その他 6. 閉会 | | |
| 会議結果 | 協議事項 (1) 山本耕平委員を会長に、大堀彰子委員を副会長に選任 (2) 川西市青少年問題協議会会議公開制度運用要綱(案)を承認 (3) 支援地域協議会に向けてネットワーク体制を整えて進めていくことを承認 (4) 平成26年度「青少年ふれあいデー」の取り組みの計画を承認 (5) 平成26年度青少年育成フォーラムをPTAと共催することを承認 実行委員(「青少年の表彰」選考委員を兼ねる)の選出 (6) 平成26年度「青少年の表彰」要綱どおり進めることを承認 | | |

審 議 経 過 (要 旨)

1. 開会 (10 : 00)

欠席者の確認

2. 委員の委嘱について

(事務局)

本来なら市長より直接お渡しすべきであるが、市長が公務のため東京に行かれていることと、時間の都合もあり、辞令は机上に置かせていただいておりますので、ご確認下さい。

3. 水田副市長挨拶

自己紹介

各委員より所属・名前など自己紹介

事務局の紹介

教育委員会からの出席者の紹介

4. 協議事項

協議事項 (1) 川西市青少年問題協議会会長・副会長の選出について (資料 1)

(事務局)

平成 26 年 4 月より地方青少年問題協議会法の改正に伴い、第 3 条第 2 項の「会長は、当該地方公共団体の長を以て充てる」及び第 3 項「委員は、地方公共団体の議会の議員、関係行政機関の職員及び学識経験のある者のうちから、当該地方公共団体の長が任命する」の部分が削除されました。そこで、「川西市青少年問題協議会規則」第 2 条第 4 項の規定により、会長・副会長は委員の互選によって選出していただくこととなっておりますが、いかが取り計らいでしょうか。

特に、ご意見が無いようですので、事務局案をご提案させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員の了承

(事務局)

今後の子ども・若者支援施策について専門的知識を持っておられる「山本委員」に会長を、また、臨床心理士としてもご活躍されている経験から「大堀委員」に副会長をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

山本委員・大堀委員の了承

その後、全委員の了承

協議事項 (2) 平成 26 年度青少年健全育成要綱について (資料 2)

(事務局)

川西市青少年健全育成要綱の改正について、資料 2 を読み上げて説明

(委員)

この協議会の位置づけと、他機関との連携、協議会としての重点課題について教えて下さい。

(事務局)

協議会の位置づけとして、青少年問題協議会が中心となり青少年施策について推進していくことがあげられる。

他機関との連携については、健全要綱に掲げている内容について、それぞれの機関が参画できる内容の部分に参画していただいている。

協議会の重点課題として、「青少年ふれあいデー」や親子の絆づくりを、青少年問題協議会の取組の一環として、市民に啓発等をしていく事があげられます。

また、資料1にあるように、青少年問題協議会は、法律に基づく付属機関と言う位置づけである。参画していただく団体の皆様には、青少年の健全育成の様々なことについて調査・審議、相互の連絡調整、また関係行政機関に対して、意見を述べていただくことを担っていただくものと考えている。

先ほど説明しました青少年健全育成要綱は、広く青少年に関して市としての方向性を取りまとめたものと考えております。

他機関との連携とは、青少年の健全育成や困難を抱える子ども・若者支援のためのネットワークづくりを充実させるためにも、協議会の委員の皆様や所属機関の皆様に、ご協力をいただきたいです。

さらに、本年度の重点課題としまして、困難を抱える子ども・若者支援のためのネットワークづくりや、総合相談窓口に関することも重点課題の一つと考えています。

(会長)

放課後子ども教室について教えて下さい。

(委員)

10年前に放課後の居場所づくりも目的に、陽明小・明峰小の2校から始まり、今では、16小学校区全てで実施しています。

各放課後子ども教室を運営している事務局は、学校であったり、コミュニティであったり、違いはあるものの、各地区の応じた放課後の居場所づくりが実施でき、子どもたちにも、好評となっています。

(会長)

1980年代までは、地域子ども会がありましたが、年々解体され、塾産業が増えてきました。子どもたちは、放課後になれば塾に行くというのがよくあるが、そのではなく地域の放課後子ども教室で過ごすというのは、子どもたちにとっても地域にとっても良い事だと思えます。

(委員)

教室を行っている講師から、ボランティアまで、全てを地域の方で構成しているので、運営側も苦勞が多いが、お互いに知っている間柄から安心して教室運営ができるし、子どもたちにも、安心して提供できます。

(会長)

この要綱に関しては、その都度事務局にメールや電話等で寄せていただき、この要綱が今後より充実していくようにしていくということでもいいでしょうか。

全委員の承認

協議事項(3) 支援地域協議会設置に向けたネットワーク体制について

資料3を基に説明

(会長)

多様な若者の支援に対して、川西市としてどのような支援体制を確立していけばよいのか、また、協議会の設置や総合相談窓口の開設にあたっての諸準備を説明していただきましたが、今後この協議会をどのように動かしていくのか、また総合相談窓口の開設にあたり、どのような電話対応をするのか、相談で出た事案に対して、どのように対応、関係機関と連携していくのか等、いろいろな観点で綿密に取り決めていく必要があります。

この青少年問題協議会の皆さんにも、ご意見をいただきたいのですが、本年度の計画に関して質問・意見はございますでしょうか。

(委員)

今現在は、このような支援はありますか？

(事務局)

今までは、39歳までを対象にした支援は無く、本年度中に協議会の設置や総合相談窓口の開設をする予定です。

(委員)

今から組織立てていくのであれば、ひきこもりやニート等の問題を抱えておられる当事者が、相談窓口等の支援機関のことを知り、来所する人は少ないと聞きます。

そのため、困っておられる方、相談を必要としておられる方に、「川西市には、支援地域協議会や総合相談窓口がある」ということが届くような、市としてのPRが必要になってくると思います。また、協議会や窓口を作った・立ち上げただけでなく、どのように機能しているのかが、今後は大切ではないかと思います。

(会長)

滋賀県の高島市では、教育委員会の青少年センターが、子ども・若者支援の窓口等の業務をされています。そこでは、困難な若者の相談がたくさん来て、窓口が回らない状況です。市民にとって、ニーズはそれだけあります。高島市では、元教諭の方が3名で業務をされ、出てくる相談事案に対して、私(会長)も入りながら協議しています。

また、高島市では、協議会や窓口の開設をしたことで、良い成果も出て来ていることから、川西市でも窓口ができてくれば、相談してくる方もきっといると思います。

(委員)

この子ども・若者総合相談窓口は、幅広い年齢層に幅広い対象にされるが、今まで、子ども・若者の相談は、人権オンブズパーソンや、教育情報センター、青少年センターで行われています。そして、「子ども・若者総合相談窓口」が開設するとなると、既存の窓口と合わせると、市民や利用者にとって、窓口の選択肢が多くなり良い部分と、利用者が抱える案件は、どの窓口で相談すれば一番適しているのかが分かりにくくなる欠点もあるので、それぞれの窓口の特徴を市民や利用者にはしっかりと示すことが必要だと考えます。

(会長)

あくまでも利用者の目線に立った事業であることは、大切だと思います。

(副会長)

窓口ごとの機能を明確にしていくことと、利用者一人一人の特性の把握も大切です。そうすることで、機関側と利用者側との関係が上手くいくように思います。

子どもの発達段階で考えると言うのが、臨床的にはとても大切なので、その点もしっかり考えていただきたいです。

(会長)

発達段階は、本当に大切な観点です。いまは正に「青年期」が伸びています。「20歳になれば自立する」と言うのは大昔の考えで、今の若者がどのように自立していけるようになるか、今の若者世代の発達段階を再度とらえ直すことが、大切です。支援者側の頃の発達段階で、今の若者世代をとらえるとなかなか難しい面が多いように感じます。

(委員)

子ども・若者支援地域協議会の概要図に関して、市内小学校校長会が入っていないのはなぜですか。

こども家庭センターや児童相談所、小学校校長会などは、どのようにこの協議会と連携していくのか教えてください。

(事務局)

協議事項(4)平成26年度「青少年ふれあいデー」について

平成25年度「青少年ふれあいデー」の取り組み概要を説明(資料4)

平成26年度「青少年ふれあいデー」の取り組みを説明(資料5)

- ・地域と一体となった啓発活動の展開
- ・啓発コンクールの実施
- ・「ちょっといい話」の募集
- ・「青少年ふれあいデー」テーマソングの活用
- ・行政が主体となった啓発活動の推進
- ・年度末の認知度調査(年1回2月に実施予定)

全委員の承認

協議事項(5)平成25年度青少年フォーラムについて

平成26年度も川西市PTA連合会との共催で行い、「川西市PTCA青少年フォーラム」とすることを提案。

全委員の承認

(事務局)

今年も青少年のことですので、中・高校生の世代に詳しい方ということで、高等学校長会 小林委員と、中学校長会 丸山委員と、川西市青少年団体連絡協議会の澁野委員を推薦したいのですが?なお、青少年育成フォーラムの実行委員になられた委員の方には、「青少年の表彰」選考委員も兼ねていただきますので、その点も合わせてよろしく願いいたします。

全委員の承認

フォーラム実行委員について以下3名を推薦。

- | | |
|----------------------|------|
| ・市立中学校校長会代表 | 丸山委員 |
| ・青少年団体連絡協議会長 | 澁野委員 |
| ・兵庫県立高等学校校長会 川西緑台高校長 | 小林委員 |

2名の委員の承認

丸山委員は、欠席のため、後日6月5日に電話で確認し承認。

全委員の承認

開催日は平成27年の1月24日(土)文化会館大ホールで行われる予定。

協議事項(6)平成26年度「青少年の表彰」について(資料6)

「青少年の表彰」要綱について提案

「青少年の表彰」の留意事項について、説明。

全委員の承認

5.閉会(11:40)

事務局あいさつ。